

2020年2月14日

各位

会社名 アライドアーキテクト株式会社  
 代表者名 代表取締役 CEO 中村 壮秀  
 (コード番号: 6081 東証マザーズ)  
 問合せ先 経営企画室長 大野 聡子  
 (TEL 03-6408-2791)

### 特別損失の計上及び通期連結業績予想と実績値との差異に関するお知らせ

当社は、2019年12月期において特別損失（投資有価証券売却損）を計上するとともに、2019年11月14日に公表いたしました、2019年12月期通期（2019年1月1日～2019年12月31日）連結業績予想と、本日公表の実績値に差異が生じたので、下記の通りお知らせいたします。

#### 記

#### 1. 特別損失（投資有価証券売却損）の内容

当社保有の上場有価証券1銘柄について、当該株式がTOB（株式公開買付け）の対象となったことを受け、保有資産の効率化を図るため、TOBに応募し2019年12月26日付で売却いたしました。

この結果、2019年12月期において、投資有価証券売却損として42,598千円を特別損失に計上いたしました。

#### 2. 2019年12月期通期連結業績予想と実績値の差異（2019年1月1日～2019年12月31日）

|                         | 売上高          | 営業利益        | 経常利益        | 親会社株主に<br>帰属する<br>当期純利益 | 1株当たり<br>当期純利益 |
|-------------------------|--------------|-------------|-------------|-------------------------|----------------|
| 前回発表予想（A）               | 百万円<br>4,161 | 百万円<br>△103 | 百万円<br>△136 | 百万円<br>△192             | 円 銭<br>△13.76  |
| 実績値（B）                  | 4,087        | △157        | △192        | △281                    | △20.08         |
| 増減額（B－A）                | △73          | △53         | △55         | △89                     | －              |
| 増減率（％）                  | △1.8         | －           | －           | －                       | －              |
| （参考）前期実績<br>（2018年12月期） | 4,088        | △14         | △251        | △369                    | △26.42         |

#### 3. 差異の理由

売上高につきましては、当社及びAiCON TOKYO株式会社では概ね想定通りに進捗したものの、連結子会社のCreadits Pte. Ltd.（以下「CREADITS社」）において、中国企業との取引の解約や中小企業向け取引からの撤退に伴い、予想を下回りました。また、営業利益につきましては、当該売上高の減少に加え、CREADITS社の中国及び中小企業向けの売上債権のうち、回収不能が見込まれる一部債権に対し貸倒引当金26,643千円を計上したこと等に伴い、予想を下回る結果となりました。

また、親会社株主に帰属する当期純利益につきましては、1.に記載の投資有価証券売却損を計上したこと及びCREADITS社において中小企業向けの拠点であったフィリピン子会社の閉鎖に関する費用18,691千円を計上したことから、予想を下回る結果となりました。

CREADITS 社におきましては、中国市場は非注力化し、成長への手応えがある欧米市場での事業展開にリソースを集中することにより、売上高を伸ばしつつ、かつ適切なコストコントロールを行うことで、今年度での単月黒字化を図ってまいります。

当社グループといたしましては、マーケティング・ソフトウェア事業及びマーケティング・ソリューション事業では堅実な成長により安定的な収益を獲得するとともに、さらなる成長が期待されるクロスボーダー事業及び CREADITS 事業での収益貢献化により、営業利益の黒字化に向けて事業を展開してまいります。

グループ全体としての中長期的な成長を目的に、事業の更なる伸長やポテンシャルの高い事業の育成等に必要投資を行うことにより企業価値の向上を目指し、当社グループ一丸となつて尽力してまいりますので、今後とも変わらぬご支援を賜りますようお願い申し上げます。

以上